

すみれ6月



梅雨に入りましたが、晴れて暑い日が続いたり、そうかと思うと雨が降ってじめじめする日が続いたり天気の変化に体調がついていくのも大変な季節になりました。子ども達は日陰に入ったり水分補給をこまめに行ったり、汗を拭いたり着替えをしたりして、暑さに負けずに日々過ごしています。タオルで汗を拭いたり、水遊び後の着替えをしたりして身の回りのことを自分でしようとする子どもたちの姿を頼もしく感じています。

これから続く暑い季節、引き続き体調管理に気を付けながら、暑い時期ならではの遊びを存分に楽しみ、またこの時期ならではの自然事象にも触れながらたくさんの経験が得られるようにしていきたいと思っています。



1組「言葉遊び」

集いでは、人の話を聞いたり、自分の意見を発言することを、楽しみながら経験できるように言葉遊びを楽しんでいます。みんなで輪になって座り、ボールを順に回しテーマに沿った物の名前を言っていきます。輪になると、友達みんなの顔が見えます。話している子の顔を見ながら聞いて、「それ知ってる!」と共感したり、聞きなれない物の名前に興味を持ったりしています。また、必ず順番が回ってくるので、生き生きと発言する子、最初は恥ずかしいけど段々と言えるようになる子など個人差はありますが、どの子も、みんなに自分の話を聞いてもらえることが嬉しくて、にこにこ言っています。それぞれに得意ジャンルがあって珍しい果物や花、乗り物、恐竜等の名前を言う子もいて驚きます。友達のを聞きながら一人一人が輝けるそんな集いの場になればと思います。



言葉に親しむ集いの時間

2組「詩を楽しむ」

集いの時間に詩をくり返し詠んでいます。はじめは短い詩に「もう終わり?」と物足りなさを感じている様子の子も達でしたが、毎日くり返し詠んでいく中で、少しずつ保育教諭や友達と声を合わせて詠み合いを楽しむ姿が見られるようになってきました。

詩集『のはらうた』に出てくる詩は、たくさんの野原の生き物が作者です。6月は「かたつむりでんきち」「あげはゆりこ」この2つの詩を楽しんでいきました。親しんできた頃、園庭でかたつむりを見つけると「かたつむりでんきちくんや」と言いながら、詩を口にしていました。また、アゲハ蝶の幼虫を保育室にお迎えすると「あげはゆりこさんのあかちゃん」と呼び、親しみを持って観察をしていました。詩を楽しむことで、言葉の面白さを感じるだけではなく、身近にいる様々な生き物とのふれあいが深まる事に子どもたちの発想力の面白さを感じました。

季節に合った詩を選ぶようにし、言葉の面白さや自由に想像する楽しさを沢山感じながら、色々な生き物への興味を広げて楽しんでいきたいと思っています。2つの詩は廊下に掲示していますので、お子さんと一緒に詠んでみてくださいね。

これから読んでいきたい詩



おれはかまきり
かまきりりゅうじ
おれはなつだぜ
おれはげんきだぜ
おれはちかよるな
あまのころも
きどきするほど
ひかっているぜ
かまも
おう あついで
おれは がんばるぜ
もえる ひをあげるぜ
かまを ふりかざす
わくわくするほど
きまつてるぜ
すがた

●水遊びが始まりました●

暑い日が続く、待ちに待った水遊びが始まりました。水の心地よさを味わったり、水の性質を利用した遊びを楽しもうと、色水遊び、シャボン玉、水鉄砲、ミスト、噴水等から選んで遊んでいます。色水遊びでは混色を楽しみ、ぶどうジュースになった!これはオレンジジュース!とジュースに例え、光に当たると「キラキラしてる!」と発見を楽しんでいます。ジンベエザメの噴水では体にかかる水が気持ちよく、かかりに行ったら逃げてきて元気に走り回っています。まだまだ続く暑い日々、子ども達と発見や楽しみを共有しながら水遊びを楽しんでいきたいと思っています。



★七夕に願いを込めて★

7月7日は七夕です。笹に

飾る七夕飾りや短冊を作って楽しんで

います。七夕飾りでは三角つなぎや提灯を作るためにハサミの連続切りに挑戦!保育教諭が紙と一緒に持ちながら真剣にハサミを動かす子ども達。のりでつけて出来上がると満足そうにしています。短冊は絵の具をつけたビー玉を転がして模様をしました。子どもたちの素直な願いが書かれた短冊、笹に飾って織姫、彦星に届け願いが叶うといいなと思います。



先日は保育参観にご参加くださりありがとうございました。